

淡江大學 108 學年度日間部寒假轉學生招生考試試題

系別：日本語文學系三年級

科目：日語翻譯

考試日期：1月13日(星期一) 第2節

本試題共 4 大題 共 2 頁

本試題雙面印刷

答題須知：

依照答案卷的格式，大小題號標示清楚，不可跳號，整齊排列答案。每大題之間請留空行。

一、選擇 請針對日文句子的下線部分，選出一個最適切的中譯 一題3分 30%

- 1、最近の仕事、ミスだらけじゃないか。君、仕事をいい加減にするにもほどがあるぞ。
(1) 隨便做事也得有個分寸 (2) 增減工作量要適可而止 (3) 增加工作要有個限度
- 2、体が丈夫に越したことはない。何事も最後は体力が物を言うのだ。
(1) 體力不曾超過丈夫 (2) 沒什麼比身體健康更好的 (3) 體型大小不會超越丈夫
- 3、人に迷惑をかけたなら、相手に謝るのは言うまでもないことだ。
(1) 來不及 (2) 理所當然 (3) 談不上
- 4、一見よさそうな計画だが、実施に移すには無理がある。
(1) 很沒道理 (2) 沒有理由 (3) 有困難。
- 5、彼女が許してくれるかどうかは、君の態度にかかっている。
(1) 關於 (2) 取決於 (3) 掛心
- 6、姉ときたら、最近おしゃれのことばかり気にしている。
(1) 說到、提到 (2) 來到……的地方 (3) 如果在……的時候
- 7、人生が有意義か否かは人の考え次第ではないか。
(1) 否認 (2) 否定 (3) 是否
- 8、あの店の服は品質といい、デザインといい申し分ない。
(1) ……很好，…也很好 (2) 不論…，還是…… (3) 申論…，再深入申論…
- 9、前までは開けばなしになっていたドアも、近頃はしっかり鍵がかかっている。
(1) 大大敞開 (2) 打不開 (3) 總是開著的
- 10、兄は締め切りに間に合わせるべく、昼も夜も論文に取り組んでいる。
(1) 為了 (2) 因為 (3) 努力於……

二、是非 請判斷翻譯的對錯(以 0 或 X 回答) 一題3分 30%

- 1、学生の将来を考えればこそ、あえて簡単には卒業させないシステムになっている。
= 如果我們好好考量學生的將來，才能思考出不讓學生太輕易就畢業的制度。
- 2、今年いっぱい、このローカル鉄道は廃止されることになった。
= 今年年初，這條地方的鐵路線就廢止了。
- 3、相場より高めだが、省エネの設備を備えた住宅が注目を集めている。
= 雖然比行情還貴，但是具有節約能源設備的住宅還是受到注目。
- 4、本物と見分けがつかないほどよくできている偽造一万円札が出回っている。
= 製作得無法與真正的一萬元日幣區別，很像真的一萬元日幣假鈔正到處流通。
- 5、同い年のいとことは気が合い、二人でよく旅行している。
= 和同齡的表妹意氣相投，常常兩個人一起去旅行。

淡江大學 108 學年度日間部寒假轉學生招生考試試題

系別：日本語文學系三年級

科目：日語翻譯

7-2

考試日期：1月13日(星期一) 第2節

本試題共 4大題 共2 頁

6. 絶大多數人都覺得應該要嚴格取締惡質的酒駕。
= 悪質な飲酒運転の取り消しはもっと厳しくしたはずだという声が圧倒的に多い。
7. 今回の豪雨が与えた経済的な影響は、まだ把握できていない。
= 這次豪雨所帶來的經濟上的影響，還無法掌握。
8. 注意を怠ることなく、十分な点検してさえいれば、この事故は防げたはずだ。
= 只要毫無懈怠地留意，做好充分的檢查維修，這次事故應該是可以預防的。
9. 犯罪が増えているので、所在確認のために、小学生の息子に携帯電話を持たせている。
= 因為犯罪案件持續增加，為了確認我的行蹤，還是小學生的兒子叫我帶著手機。
10. ブログを読んでいるうちに、会ったこともない人に親近感がわいてきた。
= 在家裡讀部落格，竟然對未曾謀面的人覺得有親切感。

三、中翻日 需有漢字和「振り仮名」 一題4分 20%

1. 你幫忙我，真是令我覺得感謝。
2. 請把檸檬切薄，放進紅茶。
3. 他所缺乏的是勇氣。
4. 勝負是暫時的，友誼是永久的。
5. 讓你去向伯父借錢，真是不好意思。

四、日翻中 請將畫線部分 分為三小題作答 20%

大学入学共通テストの記述式問題の中止を求めて、6日夜、高校生や大学教授らが、文部科学省前で抗議活動をしました。

再来年1月から始まる大学入学共通テストに導入される、国語と数学の記述式問題は、

① 採点業務を民間事業者に任せることなどを懸念する声が相次ぎ、与党側からも、見直しや延期の検討を求める意見が出ています。(7%)

6日夜、文部科学省の前には、高校生や予備校の講師、さらに大学教授ら合わせて50人ほどが集まり、文部科学省に、記述式問題の導入を中止するよう、抗議の声を上げていました。

参加した中京大学の大内裕和教授は「②教育現場の声に耳を傾けない行政の在り方が、問題を先延ばしにした。一刻も早く、中止してほしい」(7%)と訴えていました。

また、高校2年の男子生徒は「③高校生の不安を取り除くのが、文部科学省の仕事のはずだ。これ以上、混乱させないでほしい」(6%)と話していました。

(2019年12月7日NHKニュース)